

スタディポケット for TEACHER

スタディポケット for STUDENT



2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】

スタディポケット株式会社

【サービス名】

①「スタディポケット for TEACHER」教育機関向け／ライトプラン

②「スタディポケット for STUDENT」教育機関向け／ライトプラン

【支援項目】

①朝の業務、授業準備、事務

②授業、生徒指導（集団）、生徒指導（個別）

スタディポケット for TEACHER

「スタディポケット for TEACHER」は、教育現場を支える教職員のために開発された生成AIクラウドサービスです。このサービスは、教職員の日常業務における負担を軽減し、より質の高い教育活動に専念できる環境を提供します。

▼このサービスで出来ること

プロンプト入力という従来の対話型AI操作の複雑さを排除し、あらかじめ用意された利用シーンごとに、マウス操作やタッチデバイスで直感的に使えるように設計されています。また、新しいICTサービスの使い方をキャッチアップする余裕も少ない現場の状況を考慮し、プロンプトエンジニアリングなどの前提知識を極力省いた中で、生成AIの応用的な活用ができることを設計思想としました。

教務・校務に関する様々なニーズに対応するため、数十種類以上のあらかじめプリセットされたプロンプト（逆引きモード）を提供しています。これにより、教職員は「問題作成」「校務文書の作成」「通知表の所見欄の記入サポート」「生徒のエッセイ添削指導」「キーワードから保護者への文書の自動作成」「年間計画の作成」「指導案、時案の提案」「指導要領と年間計画に基づいた授業設計」「評価ルーブリックの作成支援」など、担任業務から教頭・主任業務まで、幅広い校内業務をサポートし、工数削減をサポートします。

スタディポケット for STUDENT

「スタディポケット for STUDENT」は、文部科学省の生成AIガイドラインに準拠して開発された、児童生徒が、学校での授業内・家庭学習で安心・安全に利用できる生成AIサービスです。

▼このサービスで出来ること

生徒の学習体験と成長のために、コンテンツフィルタリングやデータの保護機能に力を入れています。生徒が自ら考え、理解を深めることを重視し、AIが直接答えを提供するのではなく、考え方や解決策を導く「探求学習」という学習モードを提供しています。このアプローチにより、従来の生成AIサービスには「直接答えを知ってしまう」懸念を避けて、教員や保護者が安心して、授業内で利用できるようになりました。

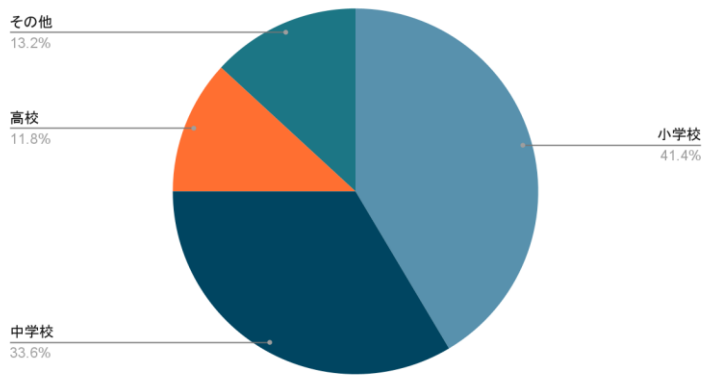
また、「答えがない課題」が世の中に多く存在する中で、答えを見つけるのではなく、考えるプロセスをAIとの対話によって養うことができます。受験を控えた生徒などは、教員側の設定により、答えを教えない探究学習モード以外にも、英会話のシミュレーションや、進路相談モード、多くの問題を解説するモードなど個々の機能を、学校の教育方針・教員の指導方針にあわせて設定することができます。一人一台端末のGIGA構想に則り、学校で配布されているiPadなどのタッチデバイスを用いた操作にも対応します。

導入実績および事例の紹介

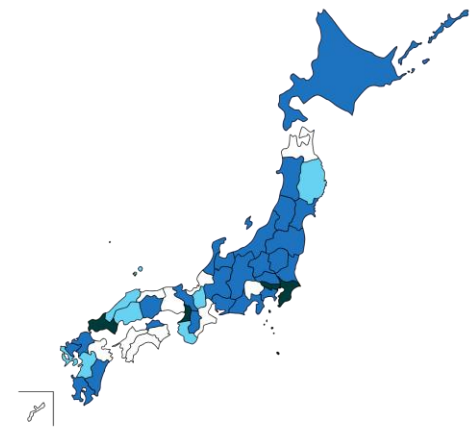
【導入実績】

本事業において9自治体（43校）でサービス導入。
また、本事業での拡大を契機に、全国で計23自治体（152校）にサービス導入（※実証導入含む）。

校種別



小学校	41.4%
中学校	33.6%
高校	11.8%
その他	13.2%



- 10校以上で提供中
- 10校未満で提供中
- 資料請求/商談中

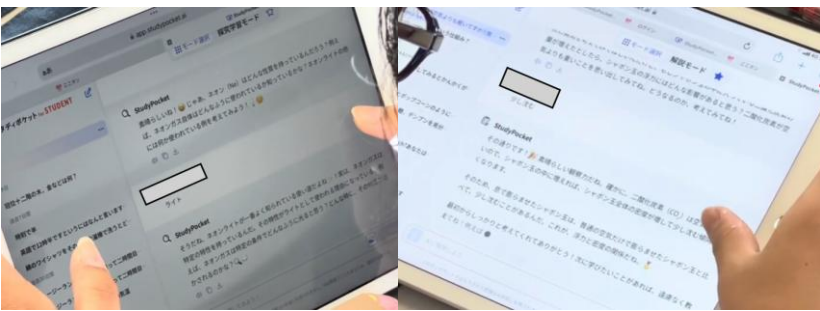
【岐阜市長良中学校での実践事例】

▼理科の授業の実践事例

テーマに沿って気になる内容をそれぞれの生徒が調べ、それを持ち寄り、生徒同士で会話しながら学びを深めていく活動を行いました。
通常のネット検索では情報がたくさん出てきますが、スタディポケット（＝生成AI）では一定のまとまった回答を画面上で得ることができ、対話形式で気になることを質問しながら理解を深めることができるため、多数の生徒が積極的に入力を行っていました。
また、生徒がスタディポケットで自主的に調べていくため、先生は机間巡視をしながら生徒の様子を常に見ることができる状態となっており、先生に質問が集中することもなく、授業中の先生の負担が軽減されているように見受けられました。



↑ 授業テーマについての説明
生徒たちの実際の入力画面内容→



日本テレビ「NNNストレイトニュース」(2024/7/27放送分)にて
岐阜市立長良中学校での取り組みが放送されました。



※日本テレビ「NNNストレイトニュース」(2024/7/27放送分)より抜粋

毎日実施する業務、毎日実施しない業務のいずれにおいても 労働時間の削減に貢献

導入前・導入後については平均時間で下記の通りの効果となっており、毎日実施する業務については平均約0.9時間の削減を実現いたしました。また、毎日実施しない業務についても、月間・年間を問わず下記の通り時間削減を実現しております。

なお、P6の導入先コメントにも記載がございますが、労働時間が削減されたことにより心身ともに余裕が生まれ、生徒と向き合える時間が増えたことも報告されております。数字として表れない定性的な効果も出ており、働き方改革による好循環が生まれております。

	導入前（時間）	導入後（時間）	削減時間（時間）	回答校数
毎日実施する業務	1.4	0.5	0.9	34
毎日実施しない業務（月間）	13.0	9.5	3.5	2
毎日実施しない業務（年間）	34.9	18.9	16.0	7

※少数点第二位を四捨五入して平均時間を算出。

課題

最も大きな課題はユーザーの使用率の向上です。
本事業でのご導入先に限らず、弊社サービス利用校のご利用状況は下記のような傾向が多く見られます。
※本事業においても同様の傾向がみられました。

- ・ほぼ毎日使用しているユーザー……全体の1~2割程度
- ・月に一度程度使用するユーザー……全体の6割程度
- ・数カ月に一度程度使用するユーザー……全体の2割程度

これらのユーザーの利用状況を定期的に確認し、学校の先生方とのコミュニケーションから利用率が高まらない原因を把握し、利用率向上のための施策など、対応していく必要がございます。

※学校ごとに課題感が異なるため、定期的なコミュニケーション機会の確保を重要視しております。

改善策

上記の課題に対して、状況改善のために下記の対応を進めていく予定です。

- ・定期的なご訪問を可能とする販売網の構築
- ・定期的なご訪問によるコミュニケーション機会の確保（※オンラインよりも現地訪問の方が効果が高いことが多かったため。）
- ・課題感 / 今後の願望のヒアリングによる、期待値の把握・調整
- ・研修等の課題解決施策の実施 / プロダクトへの改善点の反映

上記のサイクルを適切に回すことで、プロダクト開発や、プロダクト以外のサービスデリバリーを円滑に進め、お客様との信頼関係構築ならびに利用頻度の向上に努めて参ります。

サービスを利用した児童・生徒・教職員等のコメント

導入先学校の先生方より下記のコメントを頂戴しております。

◆東大阪市立日新高等学校様

先生①

「スタディポケットを使うことで日々の授業準備が簡単になり、作業効率が非常に上がりました。

これにより、週に2時間以上の時間を省けるようになり、生徒一人ひとりと向き合う時間が増えました。とても助かっています。」

先生②

「このツールを導入したことで、学習内容の整理や共有が簡単になり、職員間での情報共有もスムーズになりました。

これまで準備にかかっていた時間が大幅に減り、心身ともに余裕が生まれました。」

◆宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校様

先生①

「「スタディポケット For TEACHER」を、校務や授業・テスト内容の検討段階など様々な場面において活用することで、

教職員一人あたり平均年間50時間以上の時短に繋がっており、教員の働き方改革に直結しています。」

先生②

「「スタディポケット For STUDENT」を、生徒自身が主に探究活動の場面において壁打ちの相手役として活用することで、

探究活動の自走化が可能となり、個別最適な学びの促進に繋がっています。」

会社名	スタディポケット株式会社
設立者/代表者	代表取締役 鶴田 浩之
所在地	東京都渋谷区代官山町8-7 Daiwa代官山ビル2F
資本金	8,999万円
事業内容	生成AIを活用した教育ソフトウェアの開発事業 校務DXに関する支援事業 教育サービス事業
設立日	2019年7月1日
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省「学校DX戦略アドバイザー事業」サポート事業者 (生成AI分野) ・経済産業省「働き方改革支援補助金2024」採択事業者 ・経済産業省「未来の教室」令和6年度教育イノベーター支援プログラム採択企業

 文部科学省
学校DX戦略アドバイザー事業者

 経済産業省
令和6年度「未来の教室」EOL 採択事業者